

# “大切な花”を咲かせよう



保育所等訪問支援通信NO. 30-2

今年度の通信のテーマは『ソーシャルスキルトレーニング』です。今回は事例2として“集団行動”について挙げました。園生活の中では朝の会、活動、行事の練習など集団で行動する場面が多くあります。また、その中で人が話している時はおしゃべりをしないなど、状況に合わせた行動を求められます。集団行動が苦手なお子さんには、指示を理解できていなかったり、周りの状況を見てふさわしい行動を考えて実行することが難しいなど、必ず苦手な理由があります。まず、集団で行動することが難しい原因を探り、お子さんの思いも汲んだうえで状況を伝えて実行できる方法を考えることが大切です。少しずつ周りを観察する練習をして状況に合った行動ができるように支援していきましょう。

## 事例2 集団行動ができない

考えられる要因	こんなトレーニングをしてみよう！
集団行動をとることに 緊張感や不安を 感じている	<b>『円の中に集合』</b> ①地面に色々な大きさの円を描く。「今からみんなに円の中に全員で入ってもらいます」と伝える。 ②まず一番大きい円にみんなで入る。うまく集合して円に入れたら、上手に入れたこと、友達との間隔もよいことを褒める。 ③少しずつ小さい円に入るようにする。 ☆ポイント☆ ・最初は全員入っても余裕があるくらい大きな円で行う。どんどん小さくしていきぎゅうぎゅうにならないと入れないくらいの小さな円にも挑戦する。 ・狭くても全員が入れるように「もう少し詰められるところはないかな」と子ども同士で工夫できるような声かけをする。
周りに合わせることが わかっていない	<b>『上手にまねっこ』</b> ①広い場所に円を描いておく。4～6人のグループを作り、手本役を一人決め、台などのみんなから見える場所に立ってもらう。 ②「これから音楽をかけます。音楽が鳴っている間、お手本役以外の人は円の周りを回ります。音楽が止まったらお手本役の人はポーズをとります。他の人は真似をして同じポーズをとります」と説明する。 ③音楽をかけたり止めたりしながら練習する。 ④慣れてきたら、全員が同じポーズになるまでのタイムをグループごとに競って遊ぶ。 ☆ポイント☆ ・動いているところから、音が止まると同時に切り替えてポーズを真似することがポイント。周りを見る力の弱い子は真似をする役にして手本の子に注目できるように声掛けする。 ・活動の最初に取り入れて、聞く姿勢を作れるようにする。
指示に従わなくては ならないことが わかっていない	<b>『忍者タイム』</b> ①忍者になりきるゲーム。「〇〇の時は？」といくつかの場面を提示し、忍者がどのように行動するか子どもにイメージを発表してもらう。声や物音を立てない、じっと待つなどのイメージを引き出していく。 ②忍者のイメージが固まったら、みんなで忍者になりきって遊ぶ。マントや厚紙などで作った剣などを用意して忍者になりきれるようにする。 ③「人が話している時や先生がみんなに話している時は忍者になって静かにききましょう」と声を掛ける。 ☆ポイント☆ ・普段の活動の中で静かにしなければいけない時は「忍者タイムだよ」と声を掛ける。



【発達障害の子をサポートするソーシャルスキルトレーニング事例集 監修：腰川一恵 山口麻由美】

### お し ら せ

6月14日(木)15時より当園にて職員研修会を開催します。甲府共立診療所 作業療法士の内藤裕美氏に『保育に活かせる作業療法』と題してお話をさせていただきます。ぜひご参加ください！参加費は500円です。右記の連絡先に申し込みをお願いします。



児童発達支援センター つつじが崎学園  
 保育所等訪問支援  
 〒400-0013 山梨県甲府市岩窪町614番地  
 Tel 055-251-7678  
 Fax 055-251-7679  
 Mail yamamoto@tutuji.or.jp  
 担当：吉岡かよ 山本かほり 内藤知子

